



国鉄千葉動力車労働組合

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番

(公) 043 (222) 7207 番

98.9.10 No. 4845

第26回定期大会を成功させよう!

新しい時代にふさわしい路線と体制の確立を

動労千葉第26回定期大会が、九月二十七日から白浜町・「南国ホテル」にて開催されます。今定期大会は、正念場を迎えている清算事業団闘争をはじめとして今日の情勢のなかで、動労千葉がどのような方針を確立するのかが注目された大会になります。代議員はもとより、多くの組合員が傍聴に結集し、討論を深め、闘う方針を確立することを訴えます。

JR結託体制打ち破り 国鉄闘争に勝利しよう!

今大会で確立することの第一は、破綻するJR体制のなかで、清算事業団闘争勝利とJR本体での結託体制打倒の闘いへ総決起することです。28兆円長期債務問題の切迫と国鉄清算事業団の来月解散という情勢は、分割・民営化体制の破綻をより一層おし進めるものになっています。東日本におけるJR総連・革マルとJR当局の結託体制が、十年余の闘いのなかであらゆるところで破綻が生じ、むきだし革マル支配によってしか維持できないところまで追い詰められています。また貨物会社は、JR体制の矛盾が最も集中するなかで、経営危機がとどまるどころがないほど深化しています。いまこそ職場のなかから、清算事業団闘争勝利、結託体制打倒、反合・運転保安確立、強制配転者の原職復帰、運転士登用、貨物格差粉砕の闘いに総決起しなければなりません。

戦争と反動の攻撃を粉碎し たたかう労働運動の復権を

大会では第二に、激動する情勢とりわけ世界同時恐慌の再来ともいえる経済危機の切迫と、自民党小淵政権の安保ガイドラインへの突進というなかで、一切の反動政策と侵略戦争への踏み込みを許さず、とりわけ労働運動の再生をかけた闘いに立ち上がることです。戦後最悪の失業率のなかで、労働者一人ひとりの生活と権利を守る労働運動は、連合のもとでは望むべくもありません。九月三日衆院労働委員会は労働基

準法改悪案を強行採決し、翌四日には本会議を可決通過させた。これは資本の危機の前には労働者の権利など無くて当然と言う、資本の論理むきだしの攻撃だ。また安保ガイドラインは、自治体・運輸・医療などをはじめ労働現場にむきだしの戦争政策が強要される、恐るべき攻撃だ。また組織的犯罪対策法は、こうした情勢のなかで団結して闘うことそのものを犯罪視した弾圧立法だ。こうした戦争と反動の攻撃に對して、闘う労働運動の復権をかちとるなかから、一つひとつの攻撃をはねかえしていかなければなりません。

激動する情勢にふさわしい 闘う路線と体制の確立を

大会では第三に、こうした時代にふさわしい闘う路線と方針を確立することです。動労千葉は来年三月三十日に結成二十周年をむかえます。動労本部からの分離・独立、三里塚ジェット燃料闘争、国鉄分割・民営化反対闘争、公労法解雇撤回闘争、清算事業団闘争と数々の闘いを全組合員の総決起で闘いぬいてきました。二十年前には健在であった総評は、この過程で解散し連合になるなかで、連合の運動は労働者のための運動とはかけはなれたものになっています。しかし情勢は、労働運動の復権が掛け値なしに問われています。そしてその突破口は国鉄闘争のなかに存在しています。国をあげた不当労働行為の連発と労働組合解体攻撃に抗して団結を守り、闘いぬいてきた労働者の闘いがあり、それを支援する広範な労働者の陣形があります。本定期大会を期して、動労千葉二十年の闘いの成果のうえに、新しい労働運動の復権にむけた闘う体制をつくりあげようではありませんか。第26回定期大会に総結集し、新しい時代にふさわしい大会をかちとろう。

●動労千葉第26回定期大会
9月27日(日)13時~28日(月)13時
南国ホテル(安房郡白浜町白浜)